

委員会審査Q&A

各委員会に付託された38議案を審査

本会議で付託された38件の議案について、13日から21日にかけて行われた各常任委員会で審査しました。各常任委員会で審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

固定資産税の減免

対象範囲を拡大

Q 今回の市税条例の改正内容は？

A 単独の火災、文化財及び小規模施設等を固定資産税の減免対象に適用させるためのもの。

Q 対象に想定される小規模共有施設とは？

A 住宅等を部屋付き高齢者グループホームや障害者グループホーム等として利用した場合と、地区が防災倉庫や低地での浸水災害の避難施設等を設置した場合を想定している。

放射線対策事業の補正

Q 放射線対策事業739万8千円の増額補正のの中身は？

A 子どもたちの施設に対する除染作業委託料、放射性物質を含む汚泥の汲取りや、農業集落排水事業のコンポストの放射線検査及び学校給食のまるごと検査の手数料となっている。



市内保育所の放射線測定作業

有害鳥獣捕獲駆除の現状

Q 効果はあったか？

A 23年度は、2月から3月の2カ月間の実施で、イノシシ4頭、カラス122羽、対象外の野犬14頭を捕獲駆除した。今年度、イノシシについては8月から10月までの3カ月間実施している。既に、竹原、宮田、三箇の3カ所でイノシシ4頭を捕獲駆除した。

放射線測定器の貸出し状況等

Q 貸出し状況は？

A 23年度は、11月14日から3月31日までに555件、24年度は、9月11日現在で666件の貸出しを行ってきた。現在は予約申し込みも落ち着いた状況となっている。

Q 除染に関する相談は？

A 一般の住宅地の除染等についてはマニュアル等を配付し、必要な物品（ブルーシート、土のう袋、軍手、マスク等）を現物支給として配布する対応をしている。23年度は現物支給が34件あった。また、一部企業等からも除染等の相談があり、高性能測定器を持ち込み、線量の測定を行い、除染等の相談

を受け、さまざまな情報提供を行った。

文教福祉

竹原小学校の改築工事に向け設計費を計上

Q 竹原小学校プール解体工事設計委託料が計上されているが、プール解体の理由は？

A 校舎改築に伴うもので、運動場の広さを確保するため。

Q 水泳の授業は今後どうなるのか？

A 市内の公共のプールを使用し、授業を行うことになる。



竹原小学校前庭から（右側がプール）

スポーツ交流施設条例を制定

Q スポーツ交流施設とは？

A 本田昌也様から寄付申込みのある小川地内の土地・建物。当施設は、寄付者の意向により、市のスポーツを通じてまちづくりと青少年の健全育成とともに、生涯スポーツの推進を目的として利活用する。

Q 当施設の管理運営は？

A これから創設されるNPO法人が管理する予定。当法人は、多目的のスポーツプログラムを多年代の市民に提供する総合型地域スポーツクラブを運営するとともに、女子中学生を対象としたサッカー選手を育成するフットボールアカデミーも、当施設を拠点に運営していく予定である。

Q NPO法人の運営に市が関われるのか？

A 運営内容や業務内容等については、市が積極的に関与し、主導権を持って指導する。今後、協定書等により明確にしていく。

○ 市民がスポーツに親しむための事業を積極的に展開してほしい。

※「総合型地域スポーツクラブ」とは：日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げて、1995年より文部科学省が実施するスポーツ振興施策の1つ。幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブをいう。



寄付申し出のあったスポーツ交流施設(小川地内)

医療センター 来年度からの指定管理者選定

Q 25年度からの指定管理者候補として、「医療法人財団 古宿会」が選定された。契約年数はこれまで5年であったものを10年に長期化した理由は？

A この5年間で踏まえると、市民が安心して医療を受けられるためには、長期契約が望ましいと考えたため。

Q 古宿会の指定管理料計画では、初年度2億円、次年度から9年間1億5千万円ずつとなっている。財政難の折、市からの支出を最小限にとどめるには、病院の規模縮小も考えたほうがいいのでは？

A 地域医療の充実と、地域住民の希望を考えると、もとの病院である国保中央病院での診療体制を維持していきたい。なお、契約内容は5年後に一度見直しをする予定なので、そのときの社会情勢、病院の経営状況を見て、指定管理料は判断していくことになる。

産業建設

「空の駅」整備事業関連

Q 空の駅整備事業の開業時期は？

A 工期や従業員の教育等を考え、当初の25年9月から26年2月オープン予定とした。

Q (仮称)「空の駅」の名称は？

A 市民に浸透している「空の駅」という名称は残し、愛称として名前を公募したい。

Q 小美玉市地域再生協議会とは？

A 食のアドバイザー、料理研究者、農業者や商業者をメンバーとした、市内で生産された食材を使い、小美玉ブランド開発を推進する組織。



料理研究家などのアドバイスで小美玉ブランド開発に挑む

企業誘致

Q 空港テクノパークへの企業誘致に関する茨城県との連携状況は？

A 空港テクノパークは茨城県の所有の工業団地。本市は東証1部上場企業3、300社に対しアンケート調査を行い、空港テクノパークへの進出の可能性を探った。今後は県と情報を共有しながらいろいろな提案をしていきたい。

道路・上下水道等

Q 小川地区にある赤身地藏尊下の
法面工事について

A 年度内完成を目指している。コンクリート柵を作り、その中に植栽する急傾斜地等の整備のやり方で行う。

Q 市道10911号線の進捗状況は？

A 羽鳥駅から通称ケヤキ通りを通って世楽地内までの道路を、県道石岡紅葉線まで延長を予定している道路。今年度第1期として、佐才コミュニティセンター付近までの用地取得を予定している。

Q 下水道事業の進捗状況について

A 整備率は23年度末で美野里地区が97・7%、小川地区が71・7%、玉里地区が89・7%で、全体では89%になる。

Q 広域幹線道路田木谷・上玉里線、栗又四ヶ線の進捗状況は？

A 田木谷・上玉里線については用地取得率95%で、栗又四ヶ線については今年秋から用地取得を実施する

予定。両路線とも27年度供用開始を目指している。

Q 農業集落排水事業の加入率改善の対策は？

A 経済的、地域における住宅事情等で難しい面もあるが維持管理組合役員の方々と話し合いを行い、加入率改善を図っていきたい。また、市が接統者へ補助する財源である森林湖沼環境税の継続審議がなされているため、県と協議して対策を考えていきたい。

Q 水道事業で県から水を購入している割合は？

A 1日2000tで全体の3%程度、年間995万3千円の支出になっている。

Q 水道事業において、石綿管更新の国の補助がなくなるが？

A 23年度で国の補助が無くなった。今後は道路改良工事、下水道整備工事と併せて布設替工事を実施するなど、より経済効率を考え実施していきたい。

Q 小美玉市公有財産取得審査会及び市道認定審査会の構成は？

A 会長が副市長、事務局が管財検査課、その他関係課長で組織している。

一般質問

市民の声を市政に

平成24年第3回定例会で行われた一般質問では、9人の議員が市政に関する質問や提言を行いました。全文は議会ホームページまたは市内の各図書館に設置する会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は12月ごろに発行の予定です。



- ◇ 山本 信子 (8 ページ)
- ◇ 谷 仲 和 雄 (9 ページ)
- ◇ 福 島 ヤヨヒ (10 ページ)
- ◇ 木名瀬 幸 吉 (11 ページ)
- ◇ 長 島 幸 男 (12 ページ)
- ◇ 小 川 賢 治 (13 ページ)
- ◇ 中 根 要 樹 (14 ページ)
- ◇ 関 口 輝 門 (15 ページ)
- ◇ 戸 田 見 成 (16 ページ)

(※一般質問は、次ページから)